

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-I-10

4-I-10

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	二次交通の充実・改善
節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	10 路線バス運行計画の推進	事業主体	佐渡市交通政策課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	新潟交通佐渡(株)
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 繁忙時、冬期を考慮した二次交通の充実を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 路線バスの効率的な運行、観光客の利便性確保に向けて適切な運行計画の推進を図る。 ○ 路線維持確保のための公的補助等を行う。 		
	<p>【R2年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者に対し公的補助を行い、島内バス路線を維持する。 ● 交通事業者と協議・連携し、主要な観光施設等に路線バスを迂回・延伸させるほか、バスフリー乗車券を販売し、路線バスを観光二次交通として活用する。 <p>【R2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内路線バスの運行を維持するため、国・県・市で公的補助を実施した。 ● 年2回(春～秋、冬)のダイヤ編成と観光二次交通として週末ダイヤを計画どおり実施した。 ● 交通事業者と協議・連携し、観光客向けにバスフリー乗車券を販売した。 <p>R2はコロナの影響で1,678枚と激減した。 (R1:4,761枚、H30:4,283枚、H29:4,114枚)</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 路線バスの利用者は減少し、路線維持に係る公費負担は増加する傾向が続いている。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通機関としての路線バスを維持するため、運行支援は継続する。 ■ 観光二次交通としてバスの利用促進を図るため、フリー乗車券の販売を継続する。 ■ 利用者が減少する路線及び系統は、代替交通の導入又は運行ダイヤの見直しを行いバス交通の効率化に取り組む。 		
事業評価	<p>【事業の達成度】 〔 a ● b ● c 〕</p> <p>【事業実施の効果】 〔 a ● b ● c 〕</p> <p>【総合評価】 〔 A ● B ● C 〕</p> <p>◇ 新型コロナの影響で運送人員は大幅に減少したものの、路線バスの運行は計画どおり実施したことから、B評価とした。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。